



平成25年2月7日

各 位

会 社 名 日本紙パルプ商事株式会社
代表者名 代表取締役社長 野口 憲三
(コード：8032、東証第1部)
問合せ先 執行役員経営企画本部本部長
勝田 千尋
(TEL. 03-3534-8522)

平成25年3月期第3四半期 投資有価証券評価損の戻入れに関するお知らせ

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち上場株式について、平成25年3月期第2四半期において減損処理をした投資有価証券評価損の戻入益を計上することになりましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成25年3月期第3四半期における投資有価証券評価損（連結）

平成25年3月期第3四半期会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）の投資有価証券評価損の総額（＝イーロ）	△1,590百万円 （△は戻入益）
（イ）平成25年3月期第3四半期累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）の投資有価証券評価損の総額	7,448百万円
（ロ）直前四半期（平成25年3月期第2四半期）累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）の投資有価証券評価損の総額	9,038百万円

※ 四半期における有価証券の評価方法は、洗替え方式を採用しております。

※ 当社の決算期末は、3月31日です。

※ 当社は、平成25年3月期第3四半期に会計上の見積りの変更を行い、時価のあるその他有価証券について、時価が著しく下落したと判定するための基準を変更しております。その内容につきましては、本日発表の「平成25年3月期 第3四半期決算短信」の添付資料「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

2. 今後の見通し

上記の戻入益計上後の投資有価証券評価損を、平成25年3月期第3四半期決算において特別損失に計上しております。

なお、四半期における有価証券の評価方法は洗替え方式を採用しており、連結会計年度末の時価の予測は困難ですので、通期業績予想には上記の戻入益を反映させておりません。今後、業績予想の修正が必要となる場合は、速やかにお知らせいたします。

以 上